

東京地区院生研究会・シンポジウムのお知らせ

2008 年度 東京地区院生研究会 秋期研究会 公募研究報告・シンポジウム「グローバル化時代における「公共圏／親密圏」の生成と変容」

東京地区院生研究会では、若手研究者・大学院生の研究報告・発表の場を拡充する活動の一環として、これまで主催・共催を含め、定期的に研究会を開催してまいりました。

来る 10 月 4 日（土）の標記研究会においても同様に公募研究報告とシンポジウムを、社会科学の若手研究者らによって構成されている「国際関係思想・研究ネットワーク」および「早稲田大学現代政治経済研究所」と共催にて、開催致します。

ショートノティスにてたいへん恐縮ではございますが、みなさまのご参加をお待ち申し上げます。

*なお、概要や要旨、ペーパーなど予めダウンロードできる部分がございます。詳細は、以下のサイトでご覧くださいませ。

http://www.geocities.jp/irp_net/ken/

日時 2008 年 10 月 4 日（土）13:00-18:30

場所 早稲田大学西早稲田キャンパス 3 号館 2 階 第 1 会議室

プログラム

- 1．開会（13:00～13:10）
- 2．東京地区院生研究会 公募研究報告（13:10～14:50）

報告者 中野佳裕（PEKEA）

「単独性概念としての近隣性：la décroissance 理論における社会的紐帯構築の論理について」

討論者 布施哲（名古屋大学）

報告者 宇野陽子（津田塾大学）

「トルコ共和国建国期における外交と議会：ローザンヌ講和条約（1923年）批准をめぐる議論を中心に」

討論者 半澤朝彦（明治学院大学）

司会者 吉野良子（創価大学）

3. シンポジウム（15:00～18:35）

問題提起

1 「公共性の政治理論の現在」

森達也（早稲田大学）

2 「グローバル都市下の移住労働者と統治性」

前田幸男（国際基督教大学）

3 「グローバル化とシティズンシップ：移住労働者と越境する『世帯』」

柄谷利恵子（関西大学）

パネリスト

足立眞理子（お茶の水女子大学）

遠藤 乾（北海道大学）

柄谷利恵子（関西大学）

土谷 岳史（早稲田大学）

山本 敦久（上智大学）

モデレーター 齋藤純一（早稲田大学）

司会者 吉野良子（創価大学）

4 . 懇親会（19：00～）

会費 4,000 円（研究会会場受付にてお支払いください）

会場 酒菜そうせき 東京都新宿区喜久井町 4-1 03-3207-3361

（地下鉄早稲田駅前交差点より夏目坂を登った左手、徒歩1分）